

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

## 2019年度第2回理事会 議案

2019年11月15日(金)



認第1号

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会副会長の承認について

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会規約第5条第4項の規定に基づき、副会長の承認するものとする。

2019年11月15日提出

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

会長 多治見市長 古川 雅典



国際陶磁器フェスティバル美濃'20 理事役員名簿

理事会役職	氏名	所属	役職
会 長	古川 雅典	多治見市	多治見市長
副会長	水野 光二	瑞浪市	瑞浪市長
副会長	加藤 淳司	土岐市	土岐市長
副会長	富田 成輝	可児市	可児市長
副会長	田代 正美	多治見商工会議所	会頭
副会長	鷺尾 賢一郎	瑞浪商工会議所	会頭
副会長	大島 健太郎	土岐商工会議所	会頭
副会長	加藤 恒文	笠原町商工会	会長
副会長	井川 孝明	岐阜県商工労働部	部長
副会長	尾崎 浩之	岐阜県東濃県事務所	所長
副会長	河口 一	日本陶磁器工業協同組合連合会	理事長
副会長	坂崎 義雄	日本陶磁器卸商業協同組合連合会	理事長
副会長	水野 雅樹	全国タイル工業組合岐阜県支部	支部長
副会長	河口 一	岐阜県陶磁器産業連盟	会長
副会長	佐藤 喜好	公益財団法人セラミックパーク美濃	専務理事
理 事	中村 俊之	岐阜県東濃保健所	所長
理 事	名張 誠	岐阜県多治見土木事務所	所長
理 事	野々村 敦	岐阜県多治見警察署	署長
理 事	横山 久範	岐阜県セラミックス研究所	所長
理 事	高橋 秀治	岐阜県現代陶芸美術館	館長
理 事	河口 一	岐阜県陶磁器工業協同組合連合会	理事長
理 事	深萱 洋勝	岐阜県陶磁器卸商業協同組合連合会	理事長
理 事	早田 辰比呂	岐阜県タイル商業協同組合連合会	理事長
理 事	加藤 誠二	岐阜県窯業原料協同組合	理事長
理 事	中山 恭平	岐阜県石膏型工業協同組合	理事長
理 事	河口 一	岐阜県陶磁器デザイン協議会	会長
理 事	足立 公子	岐阜県陶磁器デザイナー協会	会長
理 事	林 恭助	公益社団法人 美濃陶芸協会	会長
理 事	金子 賢治	多治見市美濃焼ミュージアム	顧問
理 事	田口 利寿	岐阜県トラック協会東濃支部	支部長
理 事	今枝 寛彦	多治見国際交流協会	会長
理 事	加藤 誠二	岐阜県石油商業組合多治見支部	支部長
理 事	梅田 彰	一般社団法人 岐阜県発明協会多治見支会	支会長
理 事	松島 祥久	一般社団法人 多治見建設業協会	理事長
理 事	田財 千裕	一般社団法人 多治見青年会議所	理事長
理 事	日比野 慎也	一般社団法人 瑞浪青年会議所	理事長
理 事	渡辺 佳枝	一般社団法人 土岐青年会議所	理事長
理 事	増田 智子	日本貿易振興機構 岐阜貿易情報センター	所長
理 事	菊永 博	中日新聞社 社会事業部	部長



議第4号

国際陶磁器フェスティバル美濃'20 基本計画について

国際陶磁器フェスティバル美濃'20 基本計画について、次のとおり定めるものとする。

2019年11月15日提出

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

会 長 多治見市長 古 川 雅 典





(案)

 **国際陶磁器フェスティバル美濃'20**  
INTERNATIONAL CERAMICS FESTIVAL' 20 MINO, JAPAN

---

## 基本計画

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

# 目 次

## I 全体計画

- 1 開催概要 ..... 1
- 2 目的 ..... 1
- 3 事業内容 ..... 1

## II 運営体制

- 1 運営体制 ..... 2

## III フェスティバル計画

- 1 国際陶磁器展美濃 ..... 3
- 2 産業・地域・文化振興事業 ..... 4

## IV 広報計画

- 1 広報 ..... 7

## V その他

- 1 その他 ..... 7

## I 全体計画

### 1 開催概要

- (1) 名 称 「国際陶磁器フェスティバル美濃'20」  
International Ceramics Festival' 20 Mino, Japan
- (2) テーマ 「土と炎の国際交流」  
From You, From Now, From Here.
- (3) 名誉総裁 未 定
- (4) 総 裁 岐阜県知事 古田 肇
- (5) 会 長 多治見市長 古川雅典
- (6) 主 催 国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会
- (7) 会 場 セラミックパーク MINO (メイン会場)
- (8) 開催期間 2020年9月18日(金)～10月18日(日)  
【31日間】

### 2 目的

国際陶磁器フェスティバル美濃'20は、美濃焼産業の振興、陶磁器文化の振興及び東濃地域の振興を目的とします。

### 3 事業内容

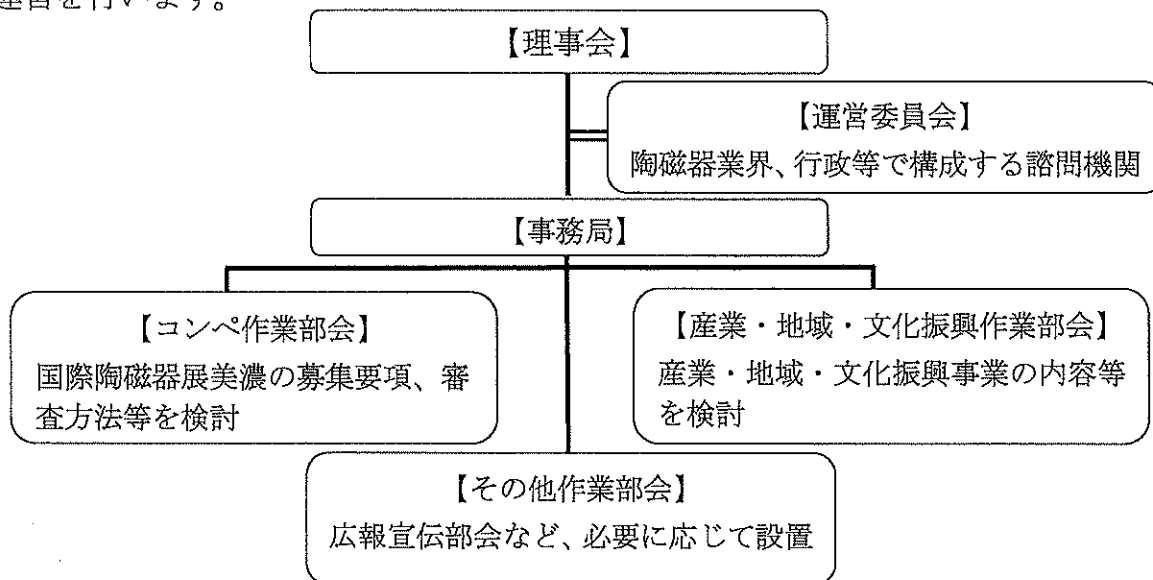
国際陶磁器フェスティバル美濃'20は、「国際陶磁器展美濃」、「産業・地域・文化振興事業」の2つの事業を柱とします。

## II 運営体制

### 1 運営体制

#### (1) 実行委員会

県内の関係機関及び団体等が一体となって、国際陶磁器フェスティバル美濃'20の開催に向けた諸準備を万全なものとするために、以下の体制により、運営を行います。



#### (2) 実行委員会の構成団体

岐阜県	岐阜県石膏型工業協同組合
多治見市	岐阜県陶磁器デザイン協議会
瑞浪市	岐阜県陶磁器デザイナー協会
土岐市	岐阜県石油商業組合多治見支部
可児市	(一社) 岐阜県トラック協会東濃支部
日本陶磁器工業協同組合連合会	(公社) 美濃陶芸協会
日本陶磁器卸商業協同組合連合会	(一社) 岐阜県発明協会多治見支会
全国タイル工業組合岐阜県支部	(一社) 多治見建設業協会
岐阜県陶磁器産業連盟	(一社) 多治見青年会議所
多治見商工会議所	(一社) 瑞浪青年会議所
瑞浪商工会議所	(一社) 土岐青年会議所
土岐商工会議所	多治見市美濃焼ミュージアム
笠原町商工会	多治見国際交流協会
岐阜県陶磁器工業協同組合連合会	ジェトロ岐阜
岐阜県陶磁器卸商業協同組合連合会	(公財) セラミックパーク美濃
岐阜県タイル商業協同組合連合会	中日新聞社
岐阜県窯業原料協同組合	

### Ⅲ フェスティバル計画

#### 1 国際陶磁器展美濃

陶磁器のデザイン・文化の国際的な交流を通じて、陶磁器産業の発展と文化の高揚に寄与することを目的に開催する国際的な陶磁器のコンペティションです。

5つの基本方針をもとに作成した募集要項で世界中から集まる作品を、著名な審査員が厳選し、約180点を展示、世界へ発信していきます。

##### ○ 5つの基本方針

- ・世界最高の陶磁器コンペティションを目指す
- ・世界最大の陶磁器産地・美濃を象徴するコンペティションとする
- ・陶磁器をテーマとした国際交流の場となるコンペティションとする
- ・当地域の産業界の挑戦意欲を刺激するコンペティションとする
- ・新たな陶芸家を育むコンペティションとする

##### ○ テーマ

「やきもののゆくえ」

既成の概念にとらわれず、自由な発想でやきものの未来を切り拓く作品を求めます。

##### ○ 募集部門

■陶芸部門

■陶磁器デザイン部門 ①ファクトリー分野 ②スタジオ分野

##### ○ 審査員

各部門日本人3名、外国人2名の国際にも著名な10名で審査します。

##### ○ スケジュール

応募受付期間 2019年11月1日～2020年1月10日

予備審査（画像・個別審査） 2020年2月～3月

第1次審査（画像・合同審査） 2020年4月7・8日

最終審査（現物・合同審査） 2020年7月12日・13日

表彰式 2020年9月17日

##### ○ 展示会

2020年9月18日～10月18日

## 2 産業・地域・文化振興事業

産業・地域・文化において、美濃焼の将来を見据え、美濃焼の可能性を最大限に発揮する事業を展開します。

実行委員会が主体の主催事業を中心に、会場費や事業費（最大 50 万円）を補助する共催事業を実施します。また、協賛事業を募り、相互に協力し、広く広報、周知を行います。

### ○ 主催事業

美濃焼産業の発展を目的に、国内はもちろんフェスティバルの国際化をこれまで以上に推進し、美濃焼とその地域を広く世界へ発信するために実行委員会が主体となって事業を行います。

また、地域の発展を目的に、共生社会の形成に寄与すると共に、幅広い世代へ陶磁器文化を発信します。

### ○ 共催・協賛事業

4市を中心に公募した次に該当する事業を共催、または協賛事業として相互に広報・周知します。

- ・美濃焼産業や陶磁器文化の振興を目的とするもの
- ・東濃地域の発展やイメージアップにつながるものまたは陶磁器フェスティバルの広報宣伝活動に効果が期待されるもの
- ・東濃地域の観光地及びブランドのイメージアップにつながるものまたは国際陶磁器フェスティバル美濃への観光客の誘致宣伝活動に効果が期待されるもの

### ○ 産業・地域・文化振興事業一覧 ※事業名は仮

#### [主催事業]

#### ・世界の名窯展

海外と地元の陶磁器メーカーの展示会。体験型のイベントとして、喫茶コーナーの設置や作陶体験を実施します。世界の名窯を肌で感じていただきます。

#### ・タイルデザイン・コンペティション

学生を対象にタイルのデザインを募集し、原画や試作品を展示します。新しいアイデアの発掘と共に若い世代へのタイル文化の浸透を図ります。

- ・フェスティバル特別ツアー企画

旅行会社に共通券対象施設の周遊、工場・作家工房の体験型見学会などの関連ツアーを企画依頼します。多くの方に美濃焼に触れる機会を創出します。

- ・Minoyaki de lunch

レストランで美濃焼の器を使った料理を提供。地元の有名店などが、器のイメージに合う料理を監修します。器と食の新たなコラボレーションを堪能していただきます。

- ・東美濃物産展

ショップエリアを拡大して、東美濃地域の特産品を販売します。特産品を通して地域の魅力を発信します。

- ・アール・プリュット美濃展

障がいを持った方などが陶磁器を中心とした作品を自由に創作し、展示します。地域の学校や施設などより多くの参加者を募り、創作活動の支援の輪を広げます。

- ・お茶会に行こう

4市の茶華道連盟が実施。茶器としての美濃焼文化に触れていただきます。

- ・小中学生招待

4市の小学4年生、中学1年生を招待します。地域産業である陶磁器に触れ、「やきもの」への愛着や郷土愛を育みます。

[共催事業]

- ・可児陶芸協会作家作品展

可児陶芸協会会員による作品展示を開催します。今回から構成団体となった可児市の陶芸文化を披露します。

- ・アート&デザイン in 多治見

過去に国際陶磁器展美濃で入賞した方の作品を展示、販売します。入賞者のその後の活躍を感じられます。

- ・第10回美濃大茶会

美濃陶芸協会による茶会。美濃古陶器と会員作品で茶席を楽しむことができます。

- ・多治見工業高校専攻科陶芸展・日仏陶芸学校交流展

在校生及び卒業生を対象にコンペを実施。フランス「ヘンリー・モイザンド総合高校」の作品と合わせて展示します。陶芸を通じた国際交流を行います。

・虎渓陶酔広場～美濃ノ器ト酒ガ出会う場所～

美濃焼の酒器と地酒と地元飲食店の料理を楽しむイベントです。  
地域や美濃焼をより深く感じることができます。

## IV 広報等

### 1 広報

岐阜県や隣県にとどまらず国内、国外からの認知度や注目度を高めるための広報を行います。

#### ○ 広告宣伝事業

既存の広報宣伝に加え、地元の重要無形文化財保持者や審査員による専門誌への寄稿やイベント出展など幅広く広報します。また、国際陶芸アカデミー（IAC）や国際的な陶磁器コンペティションを開催している台湾、イタリアなど海外との交流を通じたPR活動を行います。

## V その他

### 1 その他

国際陶磁器フェスティバル美濃'20については、その開催目的に照らした成果を検証することで次開催での更なる改善、認知度向上へ繋げます。



議第5号

国際陶磁器フェスティバル美濃'20 入場券について

国際陶磁器フェスティバル美濃'20 入場券について次のとおり定めるものとする。

2019年11月15日提出

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

会 長 多治見市長 古 川 雅 典



## 第 12 回国際陶磁器展美濃入場券について

### 1. チケット内容

- (1) 前回同様の対象施設・チケット種・額とする。
- (2) 前回同様、高校生以下並びに身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその付き添いの方 1 名は無料。

種類	区分	前売	当日
セラミックバレーぐるっとパス (7館共通入場券)	大人(大学生以上)	1,200 円	1,500 円
	シルバー(65歳以上)		1,300 円
	団体(20名以上)	—	1,300 円
国際陶磁器展美濃 単独券	大人(大学生以上)	—	800 円
	シルバー(65歳以上)	—	700 円

※ 7 館…国際陶磁器展美濃、岐阜県現代陶芸美術館、多治見市美濃焼ミュージアム、多治見市モザイクタイルミュージアム、瑞浪市陶磁資料館、土岐市美濃陶磁歴史館、可児市荒川豊蔵資料館

### 2. 前回実績

- ・ 共通入場券が販売枚数全体の 86.00% (25,923 枚)
- ・ 共通入場券はおおむね好評
- ・ 各施設からも入場者の増加につながったと評価
- ・ スタンプラリーは約 1,600 人が参加。プレゼント内容などを再検討

種類	区分	前売	当日
セラミックバレーぐるっとパス (7館共通入場券)	大人(大学生以上)	22,967 枚	2,035 枚
	シルバー(65歳以上)		861 枚
	団体(20名以上)	—	60 枚
小計		22,967 枚	2,956 枚
国際陶磁器展美濃 単独券	大人(大学生以上)	—	2,988 枚
	シルバー(65歳以上)	—	1,232 枚
小計		—	4,220 枚
合計		22,967 枚	7,176 枚



国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

## 2019年度第2回理事会 報告

2019年11月15日(金)



## イタリア（ファエンツァ市）渡航報告

### 1. 概要

イタリア・ファエンツァ市を訪問し、第12回国際陶磁器展美濃への応募、国際陶磁器フェスティバルのPR、今後の交流などについて意見交換した。



【ファエンツァ市長との面談】

### 2. 行程

- 【期間】 2019年10月10日～13日
- 【渡航者】 古川会長(多治見市長)、事務局長  
企画運営スタッフ1名
- 【訪問先】 ファエンツァ市役所  
ファエンツァ国際陶芸美術館  
イモラ社



【記者会見】

### 3. 内容

ファエンツァ市協力のもと、記者会見、企画展示によるPR活動を行った。また、市長からはヨーロッパ陶芸地協会の会長として、ヨーロッパ全土にフェスティバルをPRしていく旨、協力するとの快諾を得た。

#### 【市長面談】

- ・ヨーロッパ陶芸地協会会長として、ヨーロッパ全土に向けたPR協力への快諾。

#### 【記者会見】

- ・国際陶磁器フェスティバル美濃の紹介と第12回国際陶磁器展美濃の作品募集を説明。
- ・審査員を務めるファエンツァ国際陶芸美術館カザーリ館長と東京国立近代美術館唐澤課長から、国際陶磁器展美濃の世界的評価などについて解説。

#### 【10月日本祭オープニングセレモニー】

- ・市庁舎2階において、展示ケースにより国際陶磁器フェスティバル美濃と第12回国際陶磁器展美濃をPR。

#### 【ファエンツァ国際陶芸美術館訪問】

- ・国際陶磁器展美濃とファエンツァ国際陶芸展との相互協力について、双方の展示に賛同。

#### 【イモラ社訪問】

- ・国際陶磁器フェスティバル美濃との相互協力について、可能な範囲での協力を快諾。

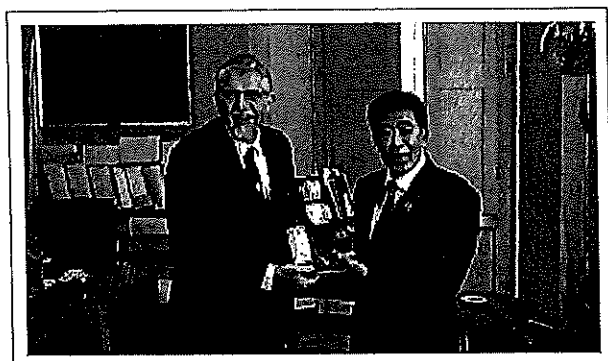


【10月日本祭オープニングセレモニー】



【イモラ社訪問】

【イタリア】



ファエンツァ市長との面談（1）



ファエンツァ市長との面談（2）



ファエンツァ市庁舎内での記者会見



記者会見後の懇談会



10月日本祭オープニングセレモニー



市庁舎2階展示ブース



ファエンツァ国際陶芸美術館視察



イモラ社視察